Dell G5 15 5500 サービスマニュアル



規制モデル: P89F 規制タイプ: P89F003 5 月 2021 年 Rev. A04

メモ、注意、警告

()メモ:製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ 注意: ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

警告:物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

©2020-2021 Dell Inc.またはその関連会社。All rights reserved.(不許複製・禁無断転載)Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc.またはその子 会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。



章 1: コンピューター内部の作業	6
コンピュータ内部の作業を始める前に	6
作業を開始する前に	6
安全にお使いいただくために	6
ESD(静電気放出)保護	7
ESD フィールド・サービス・キット	7
敏感なコンポーネントの輸送	8
コンピュータ内部の作業を終えた後に	8
章 2: コンポーネントの取り外しと取り付け	9
推奨ツール	9
ネジのリスト	
Inspiron 5500 の主要なコンポーネント	
ベースカバー	
ベース カバーの取り外し	
ベース カバーの取り付け	14
ライトバー	
ライト バーの取り外し	16
ライト バーの取り付け	17
メモリモジュール	18
メモリー モジュールの取り外し	18
メモリー モジュールの取り付け	19
ソリッドステート ドライブ:M.2 スロット 1	20
M.2 スロット1にある 2230 ソリッドステート ドライブを取り外す	20
2230 ソリッドステート ドライブを M.2 スロット 1 に取り付ける	21
M.2 スロット1にある 2280 ソリッドステート ドライブ/インテル Optane を取り外す	23
2280 ソリッドステート ドライブ/インテル Optane を M.2 スロット1に取り付ける	
ソリッドステート ドライブ:M.2 スロット 2	
M.2 スロット 2 にある 2280 ソリッドステート ドライブを取り外す	25
2280 ソリッドステート ドライブを M.2 スロット 2 に取り付ける	25
ハードドライブ	26
ハード ドライブの取り外し	
ハード ドライブの取り付け	27
バッテリー	
3 セル バッテリの取り外し	
3 セル バッテリの取り付け	
4 セル バッテリーの取り外し	
4 セル バッテリーの取り付け	
ワイヤレスカード	
WLAN カードの取り外し	
WLAN カードの取り付け	
スピーカー	
スピーカーの取り外し	35
スビーカーの取り付け	35

コイン型電池	
コイン型電池の取り外し	
コイン型電池の取り付け	
電源アダプタポート	
電源アダプター ポートの取り外し	
電源アダプター ポートの取り付け	
ファン	
左側のファンの取り外し	
左側のファンの取り付け	40
右側のファンの取り外し	
右側のファンの取り付け	42
ヒートシンク	
ヒート シンクの取り外し	
ヒート シンクの取り付け	
1/0 ボード	45
I/O ボードの取り外し	45
I/O ボードの取り付け	
ディスプレイアセンブリ	47
ディスプレイ アセンブリーの取り外し	47
ディスプレイアアセンブリーの取り付け	
システム ボード	50
システム ボードの取り外し	
システム ボードの取り付け	
指紋認証リーダー ドーターボード	54
指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り外し	54
指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り付け	55
タッチパッド	
タッチパッドの取り外し	
タッチパッドの取り付け	
パームレストとキーボードアセンブリ	
パームレストとキーボード アセンブリーの取り外し	
パームレストとキーボード アセンブリーの取り付け	
章 3: ドライバおよびダウンロード	
草 4: システム セットアップ	62
BIOS セットアッププログラムの起動	62
ナビゲーションキー	62
ワンタイム ブート メニュー	63
システム セットアップのオプション	
F12 ワンタイム ブート メニューからの BIOS のフフッシュ	
システムパスワードおよびセットアップパスワード	
システム セットアップパスワードの割り当て	72
既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更	72
CMOS 設定のクリア	73
BIOS(システム セットアップ)パスワードとシステム パスワードのクリア	73
BIOS のアップデート	73
Windows 境境での BIOS のアップデート	73
Windows 頃境の USB ドライブを使用した BIOS のアップデート	74

章 5: トラブルシューティング	
オペレーティング システムのリカバリー	
システム診断ライト	
インテル Optane メモリの有効化	
インテル Optane メモリの無効化	
待機電力のリリース	77
Wi-Fi 電源の入れ直し	77
章 6: 「困ったときは」と「デルへのお問い合わせ」	



1

コンピュータ内部の作業を始める前に

(i) メモ:本書の画像は、ご注文の構成によってお使いのコンピュータと異なる場合があります。

作業を開始する前に

手順

- 1. 開いているファイルはすべて保存して閉じ、実行中のアプリケーションはすべて終了します。
- 2. コンピュータをシャットダウンします。[スタート] > [●電源] > [シャットダウン]の順にクリックします。

 メモ:他のオペレーティングシステムを使用している場合は、お使いのオペレーティングシステムのシャットダウン方法に関するマニュアルを参照してください。
- コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
- 4. キーボード、マウス、モニタなど取り付けられているすべてのネットワークデバイスや周辺機器をコンピュータから外します。
- 5. すべてのメディアカードと光ディスクをコンピュータから取り外します(取り付けている場合)。

安全にお使いいただくために

身体の安全を守り、PC を損傷から保護するために、次の安全に関する注意に従ってください。特に記載のない限り、この文書に 記載される各手順は、お使いの PC に付属の「安全にお使いいただくための注意事項」をすでにお読みいただいていることを前提 とします。

- ▲ 警告: PC 内部の作業を行う前に、お使いの PC に付属している「安全にお使いいただくために」をお読みください。安全にお 使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、法令遵守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。
- ▲ 警告: PC につないでいる電源をすべて外してから、PC カバーまたはパネルを開きます。PC 内部の作業を終えた後は、PC を 電源コンセントに接続する前に、カバー、パネル、およびネジをすべて取り付けてください。
- <u>│ 注意:</u> PC の損傷を避けるため、平らで乾いた清潔な場所で作業を行うようにしてください。
- 注意:許可されている、あるいは Dell テクニカルサポートチームによって指示を受けた内容のトラブルシューティングと修理 のみを行うようにしてください。Dell が許可していない修理による損傷は、保証できません。製品に付属の「安全にお使いい ただくために」、または www.dell.com/regulatory_compliance を参照してください。
- △ 注意: ケーブルを外すときは、コネクターまたはコネクターのプル タブを持つようにし、ケーブル自体を引っ張らないでください。ケーブルには、ケーブルを外す前に外しておく必要のあるロック タブや蝶ネジが付いたコネクターを持つものがあります。ケーブルを外すときは、コネクター ピンを曲げないように、まっすぐ引き抜いてください。ケーブルを接続するときは、ポートとコネクターの向きが合っていることを確認してください。

🔼 注意: メディアカード リーダーに取り付けられたカードは、押して取り出します。

(i) メモ:お使いの PC の色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

ESD(静電気放出)保護

電気パーツを取り扱う際、ESD は重要な懸案事項です。特に、拡張カード、プロセッサー、メモリ DIMM、およびシステムボード などの静電気に敏感なパーツを取り扱う際に重要です。ほんのわずかな静電気でも、断続的に問題が発生したり、製品寿命が短く なったりするなど、目に見えない損傷が回路に発生することがあります。省電力および高密度設計の向上に向けて業界が前進する 中、ESD からの保護はますます大きな懸念事項となってきています。

最近のデル製品で使用されている半導体の密度が高くなっているため、静電気による損傷の可能性は、以前のデル製品よりも高くなっています。このため、以前承認されていたパーツ取り扱い方法の一部は使用できなくなりました。

ESDによる障害には、「致命的」および「断続的」の2つの障害のタイプがあります。

- 致命的 致命的な障害は、ESD 関連障害の約 20 %を占めます。障害によりデバイスの機能が完全に直ちに停止します。致命的な障害の一例としては、静電気ショックを受けたメモリ DIMM が直ちに [No POST/No Video (POST なし/ビデオなし)]症状を起こし、メモリが存在または機能しないことを示すビープコードが鳴るケースが挙げられます。
- 断続的 断続的なエラーは、ESD 関連障害の約80%を占めます。この高い割合は、障害が発生しても、大半のケースにおいて すぐにはそれを認識することができないことを意味しています。DIMM が静電気ショックを受けたものの、トレースが弱まった だけで、外から見て分かる障害関連の症状はすぐには発生しません。弱まったトレースが機能停止するまでには数週間または 数ヶ月かかることがあり、それまでの間に、メモリ整合性の劣化、断続的メモリエラーなどが発生する可能性があります。

認識とトラブルシューティングが困難なのは、「断続的」(「潜在的」または「障害を負いながら機能」とも呼ばれる)障害です。

ESD による破損を防ぐには、次の手順を実行します。

- 適切に接地された、有線の ESD リストバンドを使用します。ワイヤレスの静電気防止用リストバンドの使用は、現在許可されていません。これらのリストバンドでは、適切な保護がなされません。パーツの取り扱い前にシャーシに触れる方法では、感度が増したパーツを ESD から十分に保護することができません。
- 静電気の影響を受けやすいすべてのコンポーネントは、静電気のない場所で扱います。可能であれば、静電気防止フロアパッドおよび作業台パッドを使用します。
- 静電気の影響を受けやすいコンポーネントを輸送用段ボールから取り出す場合は、コンポーネントを取り付ける準備ができる まで、静電気防止梱包材から取り出さないでください。静電気防止パッケージを開ける前に、必ず身体から静電気を放出して ください。
- 静電気の影響を受けやすいコンポーネントを輸送する場合は、あらかじめ静電気防止コンテナまたは静電気防止パッケージに 格納します。

ESD フィールド・サービス・キット

最も頻繁に使用されるサービスキットは、監視されないフィールド・サービス・キットです。各フィールド・サービス・キット は、静電対策マット、リストストラップ、そしてボンディングワイヤーの3つの主要コンポーネントから構成されています。

ESD フィールド・サービス・キットのコンポーネント

ESD フィールド・サービス・キットのコンポーネントは次のとおりです。

- 静電対策マット 静電対策マットは散逸性があるため、サービス手順の間にパーツを置いておくことができます。静電対策マットを使用する際には、リストストラップをしっかりと装着し、ボンディングワイヤーをマットと作業中のシステムの地金部分のいずれかに接続します。正しく準備できたら、サービスパーツを ESD 袋から取り出し、マット上に直接置きます。ESD に敏感なアイテムは、手のひら、ESD マット上、システム内、または ESD 袋内で安全です。
- リストストラップとボンディングワイヤー リストストラップとボンディングワイヤーは、ESD マットが不要な場合に手首と ハードウェアの地金部分に直接接続したり、マット上に一時的に置かれたハードウェアを保護するために静電対策マットに接 続したりできます。皮膚、ESD マット、そしてハードウェアをつなぐ、リストストラップとボンディングワイヤーの物理的接 続をボンディングと呼びます。リストストラップ、マット、そしてボンディングワイヤーが含まれたフィールド・サービス・ キットのみを使用してください。ワイヤレスのリストストラップは使用しないでください。リストストラップの内部ワイヤー は、通常の装着によって損傷が発生します。よって、事故による ESD のハードウェア損傷を避けるため、リスト・ストラップ・ テスターを使用して定期的に確認する必要があります。リストストラップとボンディングワイヤーは少なくとも週に一度テス トすることをお勧めします。
- ESD リスト・ストラップ・テスター ESD ストラップの内側にあるワイヤーは、時間の経過に伴って損傷を受けます。監視されないキットを使用する場合には、サービスコールのたびに定期的にストラップをテストすることがベストプラクティスです。

最低でも週に一度テストします。テストには、リスト・ストラップ・テスターを使用することが最善です。リスト・ストラッ プ・テスターを所有していない場合には、地域オフィスに在庫を問い合わせてください。テストを実行するには、リストスト ラップを手首に装着した状態で、リストストラップのボンディングワイヤーをテスターに接続し、ボタンを押してテストを行 います。テスト合格の場合には緑の LED が点灯し、テスト不合格の場合には赤い LED が点灯し、アラームが鳴ります。

- 絶縁体要素 プラスチック製のヒートシンクの覆いなど、ESD に敏感なデバイスを、高く帯電していることが多いインシュレータ内蔵パーツから遠ざけることが重要です。
- 作業現場環境 ESD フィールド・サービス・キットを配備する前に、お客様の場所の状況を評価します。たとえば、サーバ環境用にキットを配備するのと、デスクトップや携帯デバイス用にキットを配備することは異なります。サーバは通常、データセンター内のラックに設置され、デスクトップや携帯デバイスはオフィスのデスク上か、仕切りで区切られた作業場所に配置されます。物品が散乱しておらず ESD キットを広げるために十分な平らな広いエリアを探してください。このとき、修理対象のシステムのためのスペースも考慮してください。また、作業場所に ESD の原因と成り得る絶縁体がないことも確認します。ハードウェアコンポーネントを実際に取り扱う前に、作業場所では常に発泡スチロールおよびその他のプラスチックなどのインシュレータは敏感なパーツから最低 30 cm (12 インチ)離して置きます。
- 静電気を防止する梱包 すべての ESD に敏感なデバイスは、静電気の発生しない梱包材で発送および受領する必要があります。メタルアウト/静電気防止袋の使用をお勧めします。なお、損傷した部品は、新しい部品が納品されたときと同じ ESD 保護袋とパッケージを使用して返却される必要があります。ESD 保護袋は折り重ねてテープで封をし、新しい部品が納品されたときの箱に同じエアクッション梱包材をすべて入れてください。ESD に敏感なデバイスは、ESD 保護の作業場でのみパッケージから取り出すようにします。ESD 保護袋では、中身のみ保護されるため、袋の表面に部品を置かないでください。パーツは常に、手の中、ESD マット上、システム内、または静電気防止袋内にあるようにしてください。
- **敏感なコンポーネントの輸送** 交換用パーツやデルに返却するパーツなど、ESD に敏感なパーツを輸送する場合には、安全に 輸送するため、それらのパーツを静電気防止袋に入れることが非常に重要です。

ESD 保護の概要

すべてのフィールドサービス技術者は、デル製品を保守する際には、従来型の有線 ESD 接地リストバンドおよび保護用の静電対策 マットを使用することをお勧めします。さらに技術者は、サービスを行う際に、静電気に敏感なパーツからあらゆる絶縁体パーツ を遠ざけ、静電気に敏感なパーツの運搬には静電気防止バッグを使用することが非常に重要です。

敏感なコンポーネントの輸送

交換パーツまたはデルに返送する部品など、ESD に敏感なコンポーネントを輸送する場合は、安全輸送用の静電気防止袋にこれらの部品を入れることが重要です。

コンピュータ内部の作業を終えた後に

このタスクについて

││注意: コンピュータ内部にネジが残っていたり、緩んでいたりすると、コンピュータに深刻な損傷を与える恐れがあります。

手順

- 1. すべてのネジを取り付けて、コンピュータ内部に外れたネジが残っていないことを確認します。
- 2. コンピュータでの作業を始める前に、取り外したすべての外付けデバイス、周辺機器、ケーブルを接続します。
- 3. コンピュータでの作業を始める前に、取り外したすべてのメディアカード、ディスク、その他のパーツを取り付けます。
- 4. コンピュータ、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
- 5. コンピュータの電源を入れます。

2

コンポーネントの取り外しと取り付け

(i) メモ:本書の画像は、ご注文の構成によってお使いの PC と異なる場合があります。

推奨ツール

この文書で説明する操作には、以下のツールが必要です。

- プラスドライバ No.1
- マイナスドライバー
- プラスチック スクライブ

ネジのリスト

- () メモ: コンポーネントからネジを取り外す際は、ネジの種類、ネジの数量をメモし、その後ネジの保管箱に入れておくことを お勧めします。これは、コンポーネントを交換する際に正しいネジの数量と正しいネジの種類を保管しておくようにするため です。
- () メモ:一部のコンピューターには、磁性面があります。コンポーネントを交換する際、ネジが磁性面に取り付けられたままに なっていないことを確認してください。

() メモ:ネジの色は、発注時の構成によって異なります。

表 1. ネジのリスト

コンポーネント	固定先	ネジの種類	数	ネジの画像
ベース カバー	パームレストとキーボー ドアセンブリー	M2x7	6	
ライトバー () メモ: Nvidia GeForce GTX 1660 Ti/Nvidia GeForce RTX 2060/ Nvidia GeForce RTX 2070 MQ を搭載した PC に適用されます。	ベース カバー	M2x3	7	
3セル バッテリー	パームレストとキーボー ドアセンブリー	M2x3	2	\$
4セル バッテリー	パームレストとキーボー ドアセンブリー	M2x3	3	O
ソリッドステート ドライ ブ	ソリッドステート ドライ ブ ブラケット	M2x3	1	O pp
ハードドライブアセンブ リー	パームレストとキーボー ドアセンブリー	M2x3	3	P
ハードドライブブラケッ ト	ハードドライブアセンブ リー	M3x3	4	

表1. ネジのリスト (続き)

コンポーネント	固定先	ネジの種類	数	ネジの画像
左側のファン	パームレストとキーボー ドアセンブリー	M2x3	2	Ŷ
右側のファン	パームレストとキーボー ドアセンブリー	M2x3	2	\$
ワイヤレスカードブラケ ット	システム ボード	M2x3	1	P
タッチパッドのブラケッ ト	パームレストとキーボー ドアセンブリー	M2L2 大頭	7	St.
指紋認証リーダー内蔵電 源ボタン(オプション)	パームレストとキーボー ドアセンブリー	M2x3	2	Ŷ
USB 3.1 Type-C ポート ブ ラケット	システム ボード	M2x3	2	@
ヒンジブラケット	パームレストとキーボー ドアセンブリー	M2.5x5	4	Ŷ
ヒンジブラケット	モニター パネル	M2.5x2.5 大頭	12	-
ヒンジブラケット	モニター パネル	M2x2.5	2	**
1/0 ボード	パームレストとキーボー ドアセンブリー	M2x3	2	Ŷ
システム ボード	KB サポート	M2L2 大頭	2	

Inspiron 5500 の主要なコンポーネント

次の画像は、Inspiron 5500の主要なコンポーネントを示しています。



1. ベースカバー 2. 電源アダプター ポート 3. 右側のファン 4. ヒートシンク 5. メモリー モジュール (DIMM1) 6. メモリー モジュール (DIMM2) 7. システム ボード 8. ハード ドライブ 9. バッテリー 10. スピーカー 11. タッチパッド 12. タッチパッドのブラケット 13. ディスプレイ アセンブリー 14. パームレストとキーボードアセンブリー **15.** M.2 2280 ソリッドステート ドライブ 16. サーマル シールド 17. M.2 2230 ソリッドステート ドライブ 18. サーマル シールド 19. ワイヤレスカード 20. 左側のファン **21.** 1/0 ボード 22. 指紋認証リーダー内蔵電源ボタン

() メモ: デルでは、システム購入時の初期構成のコンポーネントとパーツ番号のリストを提供しています。これらのパーツは、 お客様が購入した保証対象に応じて提供されます。購入オプションについては、デルのセールス担当者にお問い合わせください。

ベースカバー

ベース カバーの取り外し

前提条件

1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。

このタスクについて

次のイメージは、ベースカバーの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。







$ \begin{array}{c} $		s prixs home) end in inset dete	beckspace
tab Q W caps lock A S	E R T Y U D F G H J	I O P () K L ; ;	enter
shift Z X ctri fn tt alt		1 < > ? / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	Thite motioned

- 1. ベース カバーをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している 4 本の拘束ネジを緩めます。
- 2. ベース カバーをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している6本のネジ(M2x7)を取り外します。

││注意: ベース カバーを損傷する可能性があるため、ヒンジのある側からベース カバーを引き出さないでください。

- **3.** 左上隅から順に、プラスチック スクライブを使用してベース カバーを矢印の方向に持ち上げ、ベース カバーをパームレストと キーボード アセンブリーから外します。
- 4. ベース カバーを取り外し、裏返します。
 (i) メモ: 次の手順は、PC から他のコンポーネントをさらに取り外す場合のみ行います。
- 5. 必要に応じて、LED ケーブルをシステム ボードから外します。
- 6. プルタブを使用して、バッテリケーブルをシステムボードから外します。
- 7. 待機電力を逃がすため、PCの向きを変えて電源ボタンを15秒間押し続けます。

ベース カバーの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次のイメージは、ベース カバーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。

4











- 1. 必要に応じて、バッテリーケーブルをシステム ボードに接続します。
- 2. 必要に応じて、LED ケーブルをシステム ボードに接続します。
- 3. ベースカバーのネジ穴をパームレストとキーボード アセンブリーのネジ穴に合わせて、ベース カバーを所定の位置にはめ込み ます。
- 4. ベース カバーをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 6本のネジ(M2x7)を取り付けます。
- 5. ベース カバーをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 4本の拘束ネジを締めます。

次の手順

1. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ライトバー

ライト バーの取り外し

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。
- (i) メモ: この手順は、Nvidia GeForce GTX 1660 Ti/Nvidia GeForce RTX 2060/Nvidia GeForce RTX 2070 MQ を搭載した PC にのみ適用されることに注意してください。

このタスクについて

次のイメージは、ベースカバーの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

1. ライト バーをベース カバーに固定している 7 本のネジ(M2x3)を外します。

2. ライト バーを持ち上げてベース カバーから取り外します。

ライト バーの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

(i) メモ: この手順は、Nvidia GeForce GTX 1660 Ti/Nvidia GeForce RTX 2060/Nvidia GeForce RTX 2070 MQ を搭載した PC にのみ適用されることに注意してください。

次のイメージは、ベースカバーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



- 1. ライト バーのネジ穴をベース カバーのネジ穴に合わせます。
- 2. ライトバーをベースカバーに固定する7本のネジ(M2x3)を取り付けます。

次の手順

- 1. ベース カバーを取り付けます。
- 2. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

メモリモジュール

メモリー モジュールの取り外し

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

以下の画像はメモリモジュールの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。





1. 透明シートをはがしてメモリー モジュールを取り出せるようにします。

2. メモリーモジュール スロットの両端にある固定クリップを、メモリー モジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。

3. メモリーモジュールをメモリーモジュールスロットから取り外します。

メモリー モジュールの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

以下の画像はメモリーモジュールの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。





- 1. 透明シートをはがしてメモリーモジュール スロットを取り出せるようにします。
- 2. メモリーモジュールの切り込みをメモリーモジュールスロットのタブに合わせます。
- 3. メモリー モジュールを傾けてスロットにしっかりと差し込みます。
- 4. 所定の位置にカチッと収まるまで、メモリーモジュールを押し込みます。

(i) メモ:カチッという感触がない場合は、メモリーモジュールを取り外して、もう一度差し込んでください。

次の手順

- 1. ベースカバーを取り付けます。
- 2. [PC 内部の作業を終えた後に]の手順に従います。

ソリッドステート ドライブ:M.2 スロット1

M.2 スロット1にある2230ソリッドステート ドライブを取り外す

前提条件

- 1. [PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

() メモ: この手順は、M.2 スロット1に取り付けられた 2230 ソリッドステート ドライブが搭載されている PC にのみ適用されます。

() メモ:ご注文時の構成に応じて、お使いの PC には次のいずれかが搭載されている場合があります。

- ハード ドライブ x 1、2230 または 2280 のソリッドステート ドライブ x 1
- 2230 ソリッドステート ドライブ x1または 2280 ソリッドステート ドライブ x1

i メモ:発注時の構成に応じて、お使いの PC は、M.2 スロット1の 2230 ソリッドステート ドライブまたは 2280 ソリッドステート ドライブのいずれかをサポートする場合があります。

次の画像は、M.2 スロット1に取り付けられている 2230 ソリッドステート ドライブの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

- 1. サーマル シールドをソリッドステート ドライブとシステム ボードに固定している 2本のネジ(M2x3)を外します。
- 2. サーマル シールドを持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。
- 3. ソリッドステート ドライブをパームレストとキーボード アセンブリーに固定しているネジ(M2x3)を外します。
- 4. ソリッドステート ドライブをスライドさせて、システム ボードの SSD1 スロットから取り外します。

2230 ソリッドステート ドライブを M.2 スロット1 に取り付ける

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

- i メモ: この手順は、M.2 スロット1に取り付けられた 2230 ソリッドステート ドライブが搭載されている PC にのみ適用されます。
- () メモ:ご注文時の構成に応じて、お使いの PC には次のいずれかが搭載されている場合があります。
 - ハード ドライブ×1、2230 または 2280 のソリッドステート ドライブ×1
 - 2230 ソリッドステート ドライブ ×1または 2280 ソリッドステート ドライブ ×1
- (i) メモ: ソリッドステート ドライブのサーマル シールドが取り付けられていない場合は、取り付けます。

次の画像は、M.2 スロット1に取り付けられている 2230 ソリッドステート ドライブの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



- ソリッドステート ドライブの取り付け用ブラケットがシステム ボードのスロットに差し込まれていない場合は、差し込みます。
- 2. ソリッドステート ドライブの切り込みをシステム ボードの SSD1 スロットに合わせます。
- 3. ソリッドステート ドライブをシステム ボードの SSD1 スロットに差し込みます。
- 4. ソリッドステート ドライブをシステム ボードに固定するネジ(M2x3)を取り付けます。
- 5. サーマル シールドをソリッドステート ドライブにセットします。
- 6. サーマル シールドのネジ穴をシステム ボード、パームレスト、およびキーボード アセンブリーのネジ穴に合わせます。
- 7. サーマル シールドをソリッドステート ドライブとシステム ボードに固定する 2本のネジ(M2x3)を取り付けます。

次の手順

- 1. ベース カバーを取り付けます。
- 2. [PC 内部の作業を終えた後に]の手順に従います。

M.2 スロット1にある 2280 ソリッドステート ドライブ/インテル Optane を取り外す

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

() メモ: この手順は、M.2 スロット1に取り付けられた 2280 ソリッドステート ドライブが搭載されている PC にのみ適用されます。

- () メモ:ご注文時の構成に応じて、お使いの PC には次のいずれかが搭載されている場合があります。
 - ハード ドライブ x1、2230 または 2280 のソリッドステート ドライブ x1
 - 2230 ソリッドステート ドライブ x1または 2280 ソリッドステート ドライブ x1

i メモ:発注時の構成に応じて、お使いの PC は、M.2 スロット1の 2230 ソリッドステート ドライブまたは 2280 ソリッドステート ドライブのいずれかをサポートする場合があります。

次の画像は M.2 スロット1に取り付けられている 2280 ソリッドステート ドライブ/インテル Optane の位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

- サーマル シールドをシステム ボード、パームレスト、およびキーボード アセンブリーに固定している 2 本のネジ(M2x3)を 外します。
- 2. サーマル シールドを持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。
- 3. ソリッドステート ドライブ/インテル Optane をスライドさせて、システム ボードの SSD1 スロットから取り外します。

2280 ソリッドステート ドライブ/インテル Optane を M.2 スロット1に 取り付ける

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

 (i) メモ: この手順は、M.2 スロット1に取り付けられた 2280 ソリッドステート ドライブが搭載されている PC にのみ適用されます。

() メモ:ご注文時の構成に応じて、お使いの PC には次のいずれかが搭載されている場合があります。

- ハード ドライブ × 1、2230 または 2280 のソリッドステート ドライブ × 1
- 2230 ソリッドステート ドライブ ×1 または 2280 ソリッドステート ドライブ ×1

● メモ:発注時の構成に応じて、お使いの PC は、M.2 スロット1の 2230 ソリッドステート ドライブまたは 2280 ソリッドステート ドライブのいずれかをサポートする場合があります。

次の画像は M.2 スロット1に取り付けられている 2280 ソリッドステート ドライブ/インテル Optane の位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

- 1. ソリッドステート ドライブ/インテル Optane の切り込みをシステム ボードの SSD2 スロットに合わせます。
- 2. ソリッドステート ドライブ/インテル Optane をシステム ボードの SSD2 スロットに差し込みます。
- 3. ソリッドステート ドライブのブラケットをソリッドステート ドライブ/インテル Optane にセットします。
- 4. サーマル シールドのネジ穴をシステム ボード、パームレスト、およびキーボード アセンブリーのネジ穴に合わせます。
- 5. ソリッドステート ドライブ/インテル Optane をシステム ボードに固定する 2 本のネジ(M2x3)を取り付けます。

次の手順

- 1. ベース カバーを取り付けます。
- 2. [PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ソリッドステート ドライブ: M.2 スロット 2

M.2 スロット 2 にある 2280 ソリッドステート ドライブを取り外す

前提条件

- 1. [PC 内部の作業を始める前に]の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

次の画像は M.2 スロット 2 にある 2280 ソリッドステート ドライブの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。

- () メモ:ご注文時の構成に応じて、お使いの PC には次のいずれかが搭載されている場合があります。
 - ハード ドライブ × 1、2230 または 2280 のソリッドステート ドライブ × 1
 - 2230 ソリッドステート ドライブ ×1 または 2280 ソリッドステート ドライブ ×1



手順

- ソリッドステート ドライブのブラケットをシステム ボードおよびパームレストとキーボード アセンブリーに固定している 2 本のネジ(M2x3)を外します。
- 2. ソリッドステート ドライブのブラケットを持ち上げてソリッドステート ドライブから取り外します。
- 3. ソリッドステート ドライブをスライドさせて、システム ボードの SSD2 スロットから取り外します。

2280 ソリッドステート ドライブを M.2 スロット 2 に取り付ける

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像は M.2 スロット 2 に取り付けられている 2280 ソリッドステート ドライブの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に 表しています。 () メモ:ご注文時の構成に応じて、お使いの PC には次のいずれかが搭載されている場合があります。

- ハード ドライブ x 1、2230 または 2280 のソリッドステート ドライブ x 1
- 2230 ソリッドステート ドライブ ×1 または 2280 ソリッドステート ドライブ ×1



手順

- 1. ソリッドステート ドライブの切り込みをシステム ボードの SSD2 スロットに合わせます。
- 2. ソリッドステート ドライブをシステム ボードの SSD2 スロットに差し込みます。
- 3. ソリッドステート ドライブのブラケットをソリッドステート ドライブにセットします。
- ソリッドステート ドライブのブラケットのネジ穴を、システム ボードおよびパームレストとキーボード アセンブリーのネジ穴 に合わせます。
- 5. ソリッドステート ドライブをシステム ボードに固定する 2 本のネジ(M2x3)を取り付けます。

次の手順

- 1. ベース カバーを取り付けます。
- 2. [PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ハードドライブ

ハード ドライブの取り外し

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

以下の画像はハード ドライブの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。

() メモ:ご注文時の構成に応じて、お使いの PC には次のいずれかが搭載されている場合があります。

- ハード ドライブ × 1、2230 または 2280 のソリッドステート ドライブ × 1
- 2230 ソリッドステート ドライブ ×1または 2280 ソリッドステート ドライブ ×1



- 1. ラッチを開いて、ハード ドライブケーブルをシステム ボードから外します。
- 2. ハード ドライブアセンブリーをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している3本のネジ(M2x3)を取り外します。
- 3. ハード ドライブアセンブリーをケーブルと一緒に持ち上げ、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。
- 4. ハード ドライブアセンブリーからインタポーザを外します。
- 5. ハード ドライブブラケットをハード ドライブに固定している 4 本のネジ (M3x3)を取り外します。
- 6. ハード ドライブをハード ドライブブラケットから取り外します。

ハード ドライブの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

以下の画像はハード ドライブの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。

- () メモ:ご注文時の構成に応じて、お使いの PC には次のいずれかが搭載されている場合があります。
- ハード ドライブ × 1、2230 または 2280 のソリッドステート ドライブ × 1

● 2230 ソリッドステート ドライブ ×1 または 2280 ソリッドステート ドライブ ×1



手順

- 1. ハード ドライブブラケットのネジ穴をハード ドライブのネジ穴の位置に合わせます。
- 2. ハード ドライブブラケットをハード ドライブに固定する 4 本のネジ(M3x3)を取り付けます。
- 3. インタポーザをハード ドライブアセンブリーに接続します。
- 4. ハード ドライブアセンブリーのネジ穴をパームレストとキーボード アセンブリーのネジ穴に合わせます。
- 5. ハード ドライブアセンブリーをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する3本のネジ(M2x3)を取り付けます。
- 6. ハード ドライブケーブルをシステム ボードに接続し、ラッチを閉じてケーブルを固定します。

次の手順

- 1. ベース カバーを取り付けます。
- 2. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

バッテリー

3セル バッテリの取り外し

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

次の図は、バッテリの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

- 1. バッテリをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している2本のネジ(M2x3)を取り外します。
- バッテリー ケーブルをシステム ボードから外します。
- 3. バッテリを持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

3セル バッテリの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の図は、バッテリの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



- 1. バッテリーのネジ穴をパームレストとキーボードアセンブリーのネジ穴に合わせます。
- 2. バッテリをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 2 本のネジ(M2x3)を取り付けます。
- 3. バッテリーケーブルをシステム ボードに接続します。

次の手順

- 1. ベースカバーを取り付けます。
- 2. [PC 内部の作業を終えた後に]の手順に従います。

4 セル バッテリーの取り外し

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

次の図は、バッテリの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



1. バッテリをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している3本のネジ(M2x3)を取り外します。

- 2. バッテリー ケーブルをシステム ボードから外します。
- 3. バッテリを持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

4 セル バッテリーの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の図は、バッテリの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



- 1. バッテリーのネジ穴をパームレストとキーボードアセンブリーのネジ穴に合わせます。
- 2. バッテリをパームレストとキーボードアセンブリーに固定する3本のネジ(M2x3)を取り付けます。
- 3. バッテリーケーブルをシステム ボードに接続します。

次の手順

- 1. ベースカバーを取り付けます。
- 2. [PC 内部の作業を終えた後に]の手順に従います。

ワイヤレスカード

WLAN カードの取り外し

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

以下の画像は WLAN カードの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



- 1. WLAN カードをシステム ボードに固定しているネジ(M2x3)を外します。
- 2. WLAN カードをシステム ボードに固定しているブラケットを外します。
- 3. WLAN カードからアンテナケーブルを外します。
- 4. WLAN カードをスライドさせて、WLAN カード スロットから取り外します。

WLAN カードの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

以下の画像は WLAN カードの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



1. WLAN カードにアンテナケーブルを接続します。

次の表に、お使いの PC がサポートするワイヤレスカード用アンテナケーブルの色分けを示します。

表 2. アンテナケーブルの色分け

ワイヤレスカードのコネクター	アンテナケーブルの色
メイン(白色の三角形)	白色
補助(黒色の三角形)	黒色

- 2. WLAN カードの切り込みを WLAN カード スロットのタブに合わせ、WLAN カードを傾けて WLAN カード スロットに差し込み ます。
- 3. WLAN カード ブラケットを WLAN カードに合わせてセットします。
- 4. ネジ(M2x3)を取り付けて、WLAN カードをシステム ボードに固定します。

次の手順

- 1. ベースカバーを取り付けます。
- 2. [PC 内部の作業を終えた後に]の手順に従います。

スピーカー

スピーカーの取り外し

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

以下の画像はスピーカーの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。





手順

- 1. スピーカー ケーブルをシステム ボードから外します。
- 左側のスピーカーを右側のスピーカーに接続しているケーブルの配線をメモして、パームレストとキーボードアセンブリーの 配線ガイドから取り外します。

() メモ:スピーカーを持ち上げる前にゴムグロメットの位置をメモします。

3. スピーカーをケーブルと一緒に持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

スピーカーの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

以下の画像はスピーカーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。





- 位置合わせポストとゴム製グロメットを使用して、スピーカーをパームレストとキーボード アセンブリーのスロットにセット します。
 - () メモ:スピーカーを取り外す際にゴム製グロメットがスピーカーから押し出された場合は、スピーカーの取り付け前に押し 戻します。
- 2. スピーカー ケーブルをパームレストとキーボード アセンブリーの配線ガイドに沿って配線します。
- 3. システム ボードにスピーカー ケーブルを接続します。

次の手順

- 1. ベースカバーを取り付けます。
- 2. [PC 内部の作業を終えた後に]の手順に従います。

コイン型電池

コイン型電池の取り外し

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて 次の図はコイン型電池の場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。


プラスチック スクライブを使って、コイン型電池をシステム ボードのコイン型電池スロットから取り外します。

コイン型電池の取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の図は、コイン型電池の場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



コイン型電池を、プラス側を上に向けてコイン型電池スロットにセットします。
 コイン型電池を所定の位置にはめ込みます。

次の手順

- 1. ベースカバーを取り付けます。
- 2. [PC 内部の作業を終えた後に]の手順に従います。

電源アダプタポート

電源アダプター ポートの取り外し

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

以下の画像は電源アダプター ポートの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。







手順

- 1. 電源アダプター ポートをシステム ボードに固定している電源アダプター ポートブラケット上のネジ(M2x3)を外します。
- 2. 電源アダプター ポートブラケットをシステム ボードから取り外します。
- 3. システムボード上の電源アダプターポートケーブルの接続部分を覆っているシートをはがします。
- 4. 電源アダプター ポートケーブルをシステム ボードに固定しているテープをはがします。
- 5. 電源アダプタ ポートケーブルをシステム ボードから外します。
- 6. 電源アダプター ポートをケーブルと一緒に持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

電源アダプター ポートの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

以下の画像は電源アダプター ポートの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。







手順

- 電源アダプター ポートをスロットにセットし、パームレストとキーボード アセンブリーに電源アダプター ポート ケーブルを 貼り付けます。
- 2. 電源アダプターポートケーブルをシステム ボードに接続します。
- 3. システム ボード上の電源アダプター ポート ケーブルの接続部分を覆うシートを貼り付けます。
- 4. 電源アダプター ポート ブラケットを電源アダプター ポートに合わせてセットします。
- 5. 電源アダプター ポート ブラケットをシステム ボードに固定する 2本のネジ(M2x3)を取り付けます。

次の手順

- 1. ベースカバーを取り付けます。
- 2. [PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ファン

左側のファンの取り外し

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

以下の画像は左側のファンの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

- 1. ファン ケーブルをシステム ボードから外します。
- 2. WLAN ケーブルの配線をメモして、左側のファンから WLAN ケーブルを外します。
- 3. 左側のファンをシステムボードに固定している2本のネジ(M2x3)を外します。
- 4. 左側のファンを持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリーから取り外します。

左側のファンの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

以下の画像は左側のファンの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



- 1. 左側のファンをスライドさせて、パームレストとキーボードアセンブリーに合わせてセットします。
- 2. WLAN ケーブルをファンの配線ガイドに沿って配線します。
- 3. 左側のファンケーブルをシステム ボードに接続します。
- 4. 左側のファンをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 2 本のネジ(M2x3)を取り付けます。

次の手順

- 1. ベースカバーを取り付けます。
- 2. [PC 内部の作業を終えた後に]の手順に従います。

右側のファンの取り外し

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

次の画像は右側のファンの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

- 1. 右側のファンケーブルをシステム ボードから外します。
- 2. 右側のファンをシステムボードに固定している2本のネジ(M2x3)を外します。
- 3. 右側のファンを持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリーから取り外します。

右側のファンの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

以下の画像は右側のファンの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



- 1. 右側のファンをパームレストとキーボード アセンブリーに合わせてセットします。
- 2. 右側のファンをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 2 本のネジ(M2x3)を取り付けます。
- 3. 右側のファンケーブルをシステムボードに接続します。

次の手順

- 1. ベースカバーを取り付けます。
- 2. [PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ヒートシンク

ヒート シンクの取り外し

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。

 - (i) メモ: 通常の動作中、ヒートシンクが高温になる場合があります。温度が十分に下がりヒートシンクが冷えるのを待って、 触ってください。
- 2. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

次の図は、ヒートシンクの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



 逆のシーケンシャルな順序(8>7>6>5>4>3>2>1)で、ヒートシンクをシステムボードに固定している8本の拘 東ネジを緩めます。

2. ヒート シンクを持ち上げて、システム ボードから取り外します。

ヒート シンクの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の図は、ヒートシンクの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。

││ 注意: ヒートシンクの位置が正しく合っていないと、システム基板とプロセッサを損傷する可能性があります。

() メモ:システム基板またはヒートシンクのいずれかを取り付ける場合は、熱伝導性を確保するために、キット内のサーマルパ ッド/ペーストを使用してください。



- 1. ヒート シンクをシステム ボードにセットし、ヒート シンクのネジ穴をシステム ボードのネジ穴に合わせます。
- 2. ヒート シンク上に表示されているシーケンシャルな順序で、ヒート シンクをシステム ボードに固定する 8 本の拘束ネジを締め ます。

次の手順

- 1. ベースカバーを取り付けます。
- 2. [PC 内部の作業を終えた後に]の手順に従います。

1/0 ボード

I/O ボードの取り外し

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。
- 3. 左側のファンを取り外します。

このタスクについて

以下の画像は I/O ボードの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

- 1. ラッチを持ち上げて、I/O ボード ケーブルを I/O ボードから外します。
- 2. I/O ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している 3 本のネジ(M2x3)を外します。
- 3. I/O ボードを持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

I/O ボードの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

以下の画像は I/O ボードの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



- 1. 1/〇 ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに合わせてセットします。
- 2. I/O ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 3 本のネジ(M2x3)を取り付けます。
- 3. I/O ボードケーブルを I/O ボードに接続します。

次の手順

- 1. 左側のファンを取り付けます。
- 2. ベースカバーを取り付けます。
- 3. [PC 内部の作業を終えた後に]の手順に従います。

ディスプレイアセンブリ

ディスプレイ アセンブリーの取り外し

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。
- 3. ヒートシンクを取り外します。

このタスクについて

次の画像はディスプレイ アセンブリーの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

- 1. モニター ケーブルをシステム ボードから外します。
- 2. ディスプレイ ヒンジをシステム ボードに固定している 4本のネジ(M2.5x5)を取り外します。
- 3. ディスプレイ アセンブリーを持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。



ディスプレイアアセンブリーの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

以下の画像はディスプレイ アセンブリーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。





- 1. ディスプレイ アセンブリーをパームレストとキーボード アセンブリーに合わせます。
- 2. ディスプレイ ヒンジのネジ穴をシステム ボードのネジ穴に合わせます。
- 3. ディスプレイ ヒンジをシステム ボードに固定する 4 本のネジ(M2.5x5)を取り付けます。
- 4. モニター ケーブルをシステム ボードに接続します。

次の手順

- 1. ヒート シンクを取り付けます。
- 2. ベースカバーを取り付けます。
- 3. [PC 内部の作業を終えた後に]の手順に従います。

システム ボード

システム ボードの取り外し

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。
- 3. バッテリーを取り外します。
- 4. ソリッドステート ドライブ/インテル Optane を取り外します。
- 5. WLAN カードを取り外します。
- 6. 右側のファンを取り外します。
- 7. ヒートシンクを取り外します。
- 8. 電源アダプターポートを取り外します。
- 9. ハードドライブを取り外します。

このタスクについて

以下の画像はシステム ボードの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。

△注意:

I/O ボード コネクターはシステム ボードの下にあります。システム ボードを裏返し、I/O ボード ケーブルをシステム ボード から取り外します。





- 1. ラッチを開いて、電源ボタンケーブルをシステム ボードから外します。
- 2. ラッチを開き、システムボードからキーボードケーブルを外します。
- 3. ラッチを開き、キーボードバックライトケーブルをシステムボードから外します。
- 4. ラッチを開き、タッチパッドケーブルをシステムボードから外します。
- 5. USB Type-C ブラケットをシステム ボードに固定している 2 本のネジ(M2x3)を外します。
- 6. USB Type-C ブラケットを持ち上げて、システム ボードから取り外します。
 - (i) メモ:システム ボードを交換するときは、既存のシステム ボードから USB Type-C ブラケットを取り外し、交換用のシステム ボードに移動させる必要があります。
- 7. スピーカー ケーブルをシステム ボードから外します。
- 8. システム ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している2本のネジ(M2x2)を取り外します。
- 9. システム ボードを裏返し、1/〇ボード ケーブルをシステム ボードから取り外します。

システム ボードの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

以下の画像はシステム ボードの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。

(j) XE:

I/O ボード コネクターはシステム ボードの下にあります。システム ボードを裏返し、I/O ボード ケーブルをシステム ボード に取り付けます。



1. 1/〇 ボードケーブルをシステム ボードに接続します。

- 2. システム ボードを表にして、システム ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに合わせてセットします。
- 3. システム ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 2 本のネジ(M2x2)を取り付けます。
- 4. システム ボードにスピーカー ケーブルを接続します。
- 5. USB Type-C ブラケットを USB Type-C ポートにセットします。

 メモ:システム ボードを交換するときは、既存のシステム ボードから USB Type-C ブラケットを取り外し、交換用のシステム ボードに移動させる必要があります。
- 6. USB Type-C ブラケットのネジ穴を、システム ボードのネジ穴に合わせます。
- 7. USB Type-C ブラケットをシステム ボードに固定する 2 本のネジ(M2x3)を取り付けます。
- 8. タッチパッド ケーブルをシステム ボードに接続し、ラッチを閉じます。
- 9. キーボードバックライト ケーブルをシステム ボードに接続し、ラッチを閉じます。
- 10. キーボード ケーブルをシステム ボードに接続し、ラッチを閉じます。
- 11. 電源ボタン ケーブルをシステム ボードに接続し、ラッチを閉じます。

次の手順

- 1. ハード ドライブを取り付けます。
- 2. 電源アダプターポートを取り付けます。
- 3. ヒートシンクを取り付けます。
- 4. 右側のファンを取り付けます。
- 5. WLAN カードを取り付けます。
- 6. ソリッドステート ドライブ/インテル Optane を取り付けます。
- 7. バッテリーを取り付けます。
- 8. ベースカバーを取り付けます。
- 9. [PC 内部の作業を終えた後に] の手順に従います。

指紋認証リーダー ドーターボード

指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り外し

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。
- 3. バッテリーを取り外します。
- 4. ソリッドステート ドライブ/インテル Optane を取り外します。
- 5. WLAN カードを取り外します。
- 6. 右側のファンを取り外します。
- 7. ヒートシンクを取り外します。
- 8. 電源アダプターポートを取り外します。
- 9. ハードドライブを取り外します。
- 10. システムボードを取り外します。
 - (i) メモ: システム ボードは、取り付けられているヒート シンクと一緒に取り外すことができます。

このタスクについて

次のイメージは、ベース カバーの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



指紋認証リーダー内蔵電源ボタンをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している2本のネジ(M2x3)を外します。
 指紋認証リーダー内蔵電源ボタンを持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリーから取り外します。

指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の図は、コイン型電池の場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



- 1. 指紋認証リーダー内蔵電源ボタンのネジ穴を、パームレストとキーボードアセンブリーのネジ穴に合わせます。
- 2. 指紋認証リーダー内蔵電源ボタンをパームレストとキーボードアセンブリーに固定する2本のネジ(M2x3)を取り付けます。

次の手順

- 1. システムボードを取り付けます。
- 2. ハード ドライブを取り付けます。
- 3. 電源アダプター ポートを取り付けます。
- 4. ヒートシンクを取り付けます。
- 5. 右側のファンを取り付けます。
- 6. WLAN カードを取り付けます。
- 7. ソリッドステート ドライブ/インテル Optane を取り付けます。
- 8. バッテリーを取り付けます。
- 9. ベースカバーを取り付けます。
- 10. [PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

タッチパッド

タッチパッドの取り外し

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。
- 3. バッテリーを取り外します。
- 4. ソリッドステート ドライブ/インテル Optane を取り外します。
- 5. WLAN カードを取り外します。
- 6. 右側のファンを取り外します。
- 7. ヒート シンクを取り外します。
- 8. ハード ドライブを取り外します。
- 9. ディスプレイ アセンブリーを取り外します。

10. 電源アダプターポートを取り外します。

11. システム ボードを取り外します。

() メモ:システムボードは、取り付けられているヒートシンクと一緒に取り外すことができます。

このタスクについて

以下の画像はタッチパッドの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

1. タッチパッド ブラケットをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している3本のネジ(M2x2)を外します。

- 2. タッチパッド ブラケットを持ち上げてパームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。
- 3. タッチパッドからテープをはがします。
- 4. タッチパッドをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している4本のネジ(M2x2)を取り外します。
- 5. タッチパッドを持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリーから取り外します。

タッチパッドの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

以下の画像はタッチパッドの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



- 1. タッチパッドをパームレストとキーボード アセンブリーのスロットに合わせてセットします。
- 2. 4本のネジ(M2x2)を取り付け、タッチパッドをパームレストとキーボードアセンブリーに固定するテープを貼り付けます。
- 3. タッチパッド ブラケットをパームレストとキーボード アセンブリーのスロットに合わせてセットします。
- 4. タッチパッド ブラケットをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する3本のネジ(M2x2)を取り付けます。

次の手順

- 1. システムボードを取り付けます。
- 2. 電源アダプターポートを取り付けます。
- 3. ディスプレイ アセンブリーを取り付けます。
- 4. 右側のファンを取り付けます。
- 5. 左側のファンを取り付けます。
- 6. WLAN カードを取り付けます。
- 7. ハード ドライブを取り付けます。
- 8. ソリッドステート ドライブ/インテル Optane を取り付けます。
- 9. バッテリーを取り付けます。
- 10. ベースカバーを取り付けます。
- 11. [PC 内部の作業を終えた後に]の手順に従います。

パームレストとキーボードアセンブリ

パームレストとキーボード アセンブリーの取り外し

前提条件

- 1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2. ベース カバーを取り外します。
- 3. バッテリーを取り外します。
- 4. メモリーモジュールを取り外します。
- 5. WLAN カードを取り外します。

- 6. 左側のファンを取り外します。
- 7. 右側のファンを取り外します。
- 8. ソリッドステート ドライブ/インテル Optane を取り外します。
- 9. ハードドライブを取り外します。
- 10. I/O ボードを取り外します。
- 11. タッチパッドを取り外します。
- 12. スピーカーを取り外します。
- 13. ヒート シンクを取り外します。
- 14. ディスプレイ アセンブリーを取り外します。
- 15. 電源アダプターポートを取り外します。
- 16. システム ボードを取り外します。
 - () メモ:システム ボードは、取り付けられているヒート シンクと一緒に取り外すことができます。

このタスクについて

「前提条件」の手順を実行すると、パームレストとキーボード アセンブリーが残ります。



パームレストとキーボード アセンブリーの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

パームレストとキーボードアセンブリーを平らな面に置きます。



次の手順

- 1. システム ボードを取り付けます。
- 2. 電源アダプターポートを取り付けます。
- 3. ディスプレイ アセンブリーを取り付けます。
- 4. ヒートシンクを取り付けます。
- 5. スピーカーを取り付けます。
- 6. タッチパッドを取り付けます。
- 7. I/O ボードを取り付けます。
- 8. ハード ドライブを取り付けます。
- 9. ソリッドステート ドライブ/インテル Optane を取り付けます。
- 10. 右側のファンを取り付けます。
- 11. 左側のファンを取り付けます。
- 12. WLAN カードを取り付けます。
- 13. メモリー モジュールを取り付けます。
- 14. バッテリーを取り付けます。
- 15. ベースカバーを取り付けます。
- 16. [PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。



ドライバおよびダウンロード

ドライバのトラブルシューティング、ダウンロードまたはインストールを行うときには、Dell ナレッジベースの記事 [ドライバお よびダウンロードに関するよくあるお問い合わせ](SLN128938)を読むことが推奨されます。



(i) メモ: PC および取り付けられているデバイスによっては、本項にリスト表示されている項目の一部がない場合があります。

メモ: BIOS セットアップ プログラムを変更する前に、後で参照できるように、BIOS セットアップ プログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアップ プログラムは次の目的で使用します。

- RAM の容量やハード ドライブのサイズなど、PC に取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- システム設定情報の変更。
- ユーザーパスワード、取り付けられたハードドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

BIOS セットアッププログラムの起動

手順

- 1. PC の電源をオンにします。
- 2. 直ちに F2 を押して、BIOS セットアップ プログラムを入力します。

() メモ: キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。その後、PCの電源を切り、操作をやり直してください。

ナビゲーションキー

() メモ: ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効 になりません。

表 3. ナビゲーションキー

+-	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか(該当する場合)、フィー ルド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。
Esc	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン 画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが 表示され、システムが再起動します。

ワン タイム ブート メニュー

[ワン タイム ブート メニュー]を入力するには、PC の電源を入れて、すぐに F2 を押します。 () メモ: PC がオンになっている場合は、シャットダウンすることをお勧めします。

ワンタイム ブート メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ(利用可能な場合)
 (i) メモ: XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- 光学ドライブ(利用可能な場合)
- SATA ハード ドライブ(利用可能な場合)
- 診断

() メモ: [Diagnostics (診断)]を選択すると [ePSA 診断] 画面が表示されます。

ブート シーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

システム セットアップのオプション

メモ:コンピューターおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示されている項目の一部がない場合があります。

表 4. セットアップユーティリティのオプション — システム情報メニュー

概要	
BIOS Version	BIOS のバージョン番号を表示します。
Service Tag	コンピュータのサービス タグを表示します
Asset Tag	コンピュータの Asset Tag を表示します。
Ownership Tag	コンピュータの所有者タグを表示します。
Manufacture Date	コンピュータの製造日を表示します。
Ownership Date	コンピュータの購入日を表示します。
Express Service Code	コンピュータのエクスプレス サービス コードを表示します。
Ownership Tag	コンピュータの所有者タグを表示します。
署名されたファームウェア アップデート	署名されたファームウェア アップデートが有効かどうかが表示されます。
[バッテリー]	バッテリーの状態を表示します。
プライマリ(システム)パスワード	プライマリ バッテリーが表示されます。
バッテリー レベル	バッテリー レベルが表示されます。
バッテリ状況	バッテリー状況が表示されます。
正常性	バッテリーの状態を表示します。
AC アダプター	AC アダプターが取り付けられているかが表示されます。
[プロセッサ情報]	
Processor Type	プロセッサの種類を表示します。
Maximum Clock Speed	プロセッサの最高クロック スピードを表示します。
Core Count	プロセッサのコアの数を表示します。
Processor L2 Cache	プロセッサの L2 キャッシュサイズを表示します。
Processor ID	プロセッサの識別コードを表示します。

表 4. セットアップユーティリティのオプション — システム情報メニュー (続き)

概要	
Processor L3 Cache	プロセッサの L3 キャッシュサイズを表示します。
Current Clock Speed	プロセッサの現在のクロック スピードを表示します。
Minimum Clock Speed	プロセッサの最低クロック スピードを表示します。
マイクロコードのバージョン	マイクロコード バージョンを表示します。
インテル ハイパースレッディング対応	プロセッサがハイパースレッディング(HT)に対応しているかどうかを表示しま す。
64-Bit Technology	64 ビットテクノロジーが使用されているかどうかを表示します。
[メモリ情報]	
Memory Installed	インストールされているコンピュータメモリの合計を表示します。
Memory Available	使用可能なコンピュータメモリの合計を表示します。
Memory Speed	メモリ速度を表示します。
Memory Channel Mode	シングルまたはデュアル チャネルモードを表示します。
Memory Technology	メモリに使用されているテクノロジーを表示します。
[デバイス情報]	
Video Controller	コンピューターの内蔵グラフィックスの情報を表示します。
dGPU Video Controller	コンピュータの専用グラフィックスの情報を表示します。
Video BIOS Version	コンピュータのビデオ BIOS のバージョンを表示します。
Video Memory	コンピュータのビデオメモリ情報を表示します。
Panel Type	コンピュータのパネルのタイプを表示します。
Native Resolution	コンピュータのネイティブ解像度を表示します。
Audio Controller	コンピュータのオーディオコントローラ情報を表示します。
Wi-Fi Device	コンピュータのワイヤレスデバイスの情報を表示します。
Bluetooth Device	コンピューターの Bluetooth デバイス情報を表示します。

表 5. システム セットアップ オプション — 起動オプション メニュー

起動オプション	
UEFI ネットワーク スタックを有効または無効にします。	
デフォルト:OFF(オフ)	
このコンピューターの起動モードを表示します。	
このコンピューターの起動デバイスを有効または無効にします。	
ブート シーケンスを表示します。	
BIOS の詳細設定を有効または無効にします。	
デフォルト:ON(オン)	
F12 起動メニューから UEFI 起動パスを起動するときに、ユーザーに管理者パスワ ードの入力を求めるプロンプトを有効または無効にします。	
デフォルト:Always Except Internal HDD	
-	

表 6. セットアップユーティリティのオプション — システム設定メニュー

[Date/Time]	
日付	コンピューターの日付を MM/DD/YYYY 形式で設定します。日付の変更はすぐ に反映されます。
時刻	コンピューターの時間を HH/MM/SS の 24 時間形式で設定します。12 時間クロ ックと 24 時間クロックを切り替えることができます。時間の変更はすぐに反映 されます。
[Enable SMART Reporting (SMART レポー トを有効にする)]	コンピューターの起動中にハード ドライブのエラーを報告する SMART(自己監 視、解析、およびレポート作成テクノロジー)を有効または無効にします。
	デフォルト:OFF(オフ)
[Enable Audio(オーディオを有効にする)]	すべての組み込み型オーディオ コントローラを有効または無効にします。
	デフォルト:ON(オン)
[Enable Microphone(マイクロフォンを有効	マイクロフォンを有効または無効にします。
にする)]	デフォルト:ON(オン)
[Enable Internal Speaker(内蔵スピーカーを	内蔵スピーカーを有効または無効にします。
有効にする)]	デフォルト:ON(オン)
[USB 設定]	
Enable Boot Support	外付ハード ドライブ、光学ドライブ、USB ドライブのような USB 大容量ストレ ージ デバイスからの起動を有効または無効にします。
Enable External USB Ports(外付け USB ポ ートを有効にする)	オペレーティング システム環境で機能する USB ポートを有効または無効にしま す。
[SATA Operation]	内蔵 SATA ハード ドライブ コントローラーの動作モードを設定します。
	デフォルト:RAID。SATA は RAID(インテル Rapid Restore テクノロジー)をサ ポートするように設定されています。
[Drives]	各種オンボード ドライブを有効または無効にします。
M.2 PCIe SSD-0/SATA-2	デフォルト:ON(オン)
SATA-0	デフォルト:ON(オン)
ドライブ情報	各種オンボード ドライブの情報を表示します。
[Miscellaneous Devices]	各種オンボード デバイスを有効または無効にします。
Enable Camera	カメラを有効または無効にします。
	デフォルト:ON(オン)
Keyboard Illumination	キーボード ライト機能の動作モードを設定します。
	デフォルト:Disabled(無効)キーボード ライトは常に消灯します。
Keyboard Backlight Timeout on AC(AC での キーボードバックライトのタイムアウト)	AC アダプターがコンピューターに接続されているときに、キーボードのタイム アウト値を設定します。キーボード バックライトのタイムアウト値は、バック ライトが有効化されている場合にのみ有効です。
	デフォルト:10 秒。
Keyboard Backlight Timeout on Battery(バッ テリでのキーボードバックライトのタイム アウト)	コンピューターがバッテリで動作しているときに、キーボードのタイムアウト値 を設定します。キーボード バックライトのタイムアウト値は、バックライトが 有効化されている場合にのみ有効です。
	デフォルト:10 秒。
タッチスクリーン	オペレーティング システムのタッチスクリーンを有効または無効にします。

表 6. セットアップユーティリティのオプション — システム設定メニュー (続き)

システム設定

デフォルト:ON(オン)

表7. セットアップユーティリティのオプション — ビデオメニュー

ビデオ	
[LCD Brightness]	
Brightness on battery power	コンピューターがバッテリ電源で動作しているときに、画面の輝度を設定しま す。
Brightness on AC power	コンピューターが AC 電源で動作しているときに、画面の輝度を設定します。
[EcoPower]	必要に応じて画面の輝度を下げることにより、バッテリー持続時間を延ばす EcoPower を有効または無効にします。
	デフォルト:ON(オン)

表 8. セットアップユーティリティのオプション — セキュリティメニュー

t	2キュリティ	
	Enable Admin Setup Lockout(管理者セット アップロックアウトを有効にする)	管理者パスワードが設定されている場合に、ユーザーによる BIOS セットアップの起動を有効または無効にします。
		デフォルト:OFF(オフ)
	Password Bypass	システムの再起動中に、システム(起動)パスワードと内蔵ハード ドライブ パ スワード入力のプロンプトをスキップすることができます。
		デフォルト:Disabled(無効)
	Enable Non-Admin Password Changes	管理者パスワードの必要なしで、ユーザーによるシステム パスワードとハード ドライブ パスワードの変更を有効または無効にします。
		デフォルト:ON(オン)
	[Non-Admin Setup Changes]	
	Allow Wireless Switch Changes	管理者パスワードが設定されている場合に、セットアップ オプションへの変更 を有効または無効にします。
		デフォルト:OFF(オフ)
	Enable UEFI Capsule Firmware Updates	UEFI カプセル アップデート パッケージで BIOS アップデートを有効または無効 にします。
	[Computrace]	オプションの Absolute Software 社製 Computrace(R) Service の BIOS モジュール インタフェースを有効または無効にします。
	[Intel Platform Trust Technology On]	オペレーティング システムへの Platform Trust Technology(PTT)の可視性を有 効または無効にします。
		デフォルト:ON(オン)
	PPI Bypass for Clear Commands	クリア コマンドの発行時に、オペレーティング システムによる BIOS 物理プレゼ ンス インターフェイス (PPI) ユーザー プロンプトのスキップを有効または無効 にします。
		デフォルト:OFF(オフ)
	Clear(クリア)	コンピューターによる PTT 所有者情報のクリアを有効または無効にし、PTT を デフォルトの状態に戻します。
		デフォルト:OFF(オフ)
	[Intel SGX]	インテル Software Guard Extensions (SGX)によるコードの実行/機密情報の保存 のための安全な環境の提供を有効または無効にします。
		デフォルト:Software Control

表 8. セットアップユーティリティのオプション — セキュリティメニュー (続き)

セキュリティ	
[SMM Security Mitigation]	追加の UEFI SMM セキュリティ緩和の保護を有効または無効にします。
	デフォルト:OFF(オフ)
	 メモ:この機能により、一部のレガシー ツールやアプリケーションで互換性の問題または機能の損失が発生する可能性があります。
Enable Strong Passwords	強力なパスワードを有効または無効にします。
	デフォルト:OFF(オフ)
[Password Configuration]	管理者パスワードとシステム パスワードの最小、および最大文字数を設定しま す。
[Admin Password]	管理者(admin)パスワード(「セットアップ」パスワードと呼ばれる場合もあ る)を設定、変更、または削除します。
[System Password]	システム パスワードを設定、変更、または削除します。
Enable Master Password Lockout	マスター パスワード サポートを有効または無効にします。
	デフォルト:OFF(オフ)

表 9. セットアップユーティリティのオプション — セキュア ブートメニュー

安全起動	
Enable Secure Boot	検証済みの起動ソフトウェアのみを使用したコンピューターの起動を有効また は無効にします。
	デフォルト:OFF(オフ)
	 (i) メモ: [セキュアブート]を有効にする必要があるコンピューターは、UEFI 起動モードである必要があり、[レガシーオプション ROM を有効にする]オ プションをオフにする必要があります。
Secure Boot Mode	[セキュア ブート] 動作モードを選択します。
	デフォルト:Deployed Mode。
	 (i) メモ: [セキュアブート]の通常のオペレーションを行うには、[デプロイド モード]を選択する必要があります。

表 10. システム セットアップ オプション — エキスパート キー管理メニュー

エキスパートキー管理	
カスタムモードを有効にする	変更する PK、KEK、db、dbx のセキュリティ キー データベースのキーを有効ま たは無効にします。
	デフォルト:OFF(オフ)
Custom Mode Key Management	エキスパート キー管理用にカスタム値を選択します。
	デフォルト:PK。

表 11. システム セットアップ オプション — パフォーマンス メニュー

パフォーマンス	
Intel Hyper-Threading Technology	インテルハイパースレッディング・テクノロジーによるプロセッサー リソースの より効率的な使用を有効または無効にします。
	デフォルト:ON(オン)
Intel SpeedStep	インテル SpeedStep テクノロジーがプロセッサーの電圧とコア周波数を動的に 調整し、平均電力消費量と発熱量を削減する機能を有効または無効にします。
	デフォルト:ON(オン)

表 11. システム セットアップ オプション ― パフォーマンス メニュー (続き)

パフォーマンス	
Intel TurboBoost Technology	プロセッサーのインテル TurboBoost モードを有効または無効にします。有効な 場合、インテル TurboBoost ドライバーは、CPU またはグラフィックス プロセッ サーのパフォーマンスを向上させます。
	デフォルト:ON(オン)
Multi-Core Support	オペレーティング システムで使用可能な CPU コアの数を変更します。デフォル ト値は、コアの最大数に設定されています。
	デフォルト:All Cores。
Enable C-State Control	低電力状態を開始して終了する CPU の機能を有効または無効にします。 デフォルト:ON(オン)

表 12. セットアップユーティリティのオプション — 電源管理メニュー

電	源管理	
	Wake on AC(ウェイクオン AC)	コンピューターに AC 電源が供給されている場合に、コンピューターの電源をオンにして起動できるようにします。
		デフォルト:OFF(オフ)
	Auto on Time	指定された日付と時刻にコンピューターの電源を自動的にオンにすることがで きます。
		デフォルト:Disabled(無効)システムは自動的に電源オンになりません。
	バッテリーの充電設定	電力使用時間中に、バッテリでコンピューターを動作させることができます。以 下のオプションを使用して、各日の特定の時間帯での AC 電源の使用を防止しま す。
		デフォルト:Adaptive(適応)バッテリの設定は、標準のバッテリ使用パターン に基づいて、順応的に最適化されます。
	Enable Advanced Battery Charge Configuration	その日の始まりから指定した作業時間までの高度なバッテリ充電設定を有効に します。高度なバッテリ充電では、日中の頻繁な使用をサポートしつつバッテリ の正常性を最大限にします。
		デフォルト:OFF(オフ)
	Block Sleep	コンピューターがオペレーティング システムでスリープ(S3)モードに入るの をブロックします。
		デフォルト:OFF(オフ)
		(i) メモ: 有効にした場合、コンピューターはスリープにはならず、インテル Rapid Start は自動的に無効になり、オペレーティング システムの電源オプシ ョンは、スリープに設定されていた場合は空白になります。
	Enable USB Wake Support(USB ウェイクサ ポートを有効にする)	USB デバイスでコンピューターをスタンバイ モードからウェイクできるように します。
		デフォルト:OFF(オフ)
	Enable Intel Speed Shift Technology	オペレーティング システムが適切なプロセッサー パフォーマンスを自動的に選 択できるようにするインテル Speed Shift テクノロジー サポートを有効または無 効にします。
		デフォルト:ON(オン)
	Lid Switch	蓋を開けるたびに、コンピューターの電源をオフ状態からオンにすることができ ます。
		デフォルト:ON(オン)

表 13. セットアップユーティリティのオプション — ワイヤレスメニュー

ワイヤレス	
[Wireless Switch]	 ワイヤレス スイッチでどのワイヤレス デバイスを制御できるかを決定します。 Windows 8 システムの場合、これはオペレーティング システム ドライブに直接制御されます。したがって、この設定はワイヤレス スイッチの動作には影響しません。 () メモ: WLAN と WiGig の両方が存在する場合、有効化/無効化の制御は連動しています。したがって、個別に有効または無効にすることはできません。
WLAN	デフォルト:ON(オン)
Bluetooth	デフォルト:ON(オン)
[Wireless Device Enable]	内蔵 WLAN/Bluetooth デバイスを有効または無効にします。
WLAN	デフォルト:ON(オン)
Bluetooth	デフォルト:ON(オン)

表 14. セットアップユーティリティのオプション — POST 動作メニュー

POST 動作	
Numlock Enable	コンピューターの起動時に Numlock を有効または無効にします。
	デフォルト:ON(オン)
Enable Adapter Warnings(アダプタの警告 を有効にする)	起動中にコンピューターにアダプタ警告メッセージを表示させることができま す。
	デフォルト:ON(オン)
Extend BIOS POST Time	BIOS POST(電源投入時の自己テスト)のロード時間を設定します。
	デフォルト:0秒。
Fastboot	UEFI 起動プロセスの速度を設定します。
	デフォルト:Thorough(完全)起動中にハードウェアおよび設定の完全な初期化 を行います。
Fn Lock Options	Fn Lock モードを有効または無効にします。
	デフォルト:ON(オン)
Lock Mode	デフォルト:Lock Mode Secondary。[ロック モード セカンダリ] ゠このオプシ ョンが選択されている場合は、F1~F12 キーを使用して、セカンダリ機能のコー ドをスキャンします。
Pull Screen Logo	イメージが画面の解像度に一致する場合、コンピューターが全画面のロゴを表示 する機能を有効または無効にします。
	デフォルト:OFF(オフ)
Warnings and Errors	起動中に警告またはエラーが発生した場合の処置を選択します。
	デフォルト : Prompt on Warnings and Errors。警告またはエラーが検出された場合 に停止し、プロンプトを表示してユーザーの入力を待ちます。
	() メモ: コンピューター ハードウェアの動作にとって重要であると判断された エラーは、常にコンピューターを停止します。

表 15. システム セットアップ オプション — 仮想化メニュー

仮想化	
Intel Virtualization Technology	コンピューターが仮想マシン モニタ(VMM)を実行できるようにします。 デフォルト:ON(オン)

表 15. システム セットアップ オプション — 仮想化メニュー (続き)

仮想化	
VT for Direct I/O	コンピューターがダイレクト I/O の仮想化テクノロジー(VT-d)を実行できるようにします。VT-d は、メモリ マップ I/O の仮想化を実現するインテルの方法です。 デフォルト:ON(オン)

表 16. セットアップユーティリティのオプション — メンテナンスメニュー

メンテナンス	
Asset Tag	IT 管理者が使用できるシステム Asset Tag を作成し、特定のシステムを一意に識別します。BIOS で設定が完了すると、Asset Tag を変更することはできません。
Service Tag	コンピュータのサービス タグを表示します
BIOS Recovery from Hard Drive	起動ブロック部分が損傷を受けておらず、機能している限り、コンピューターが 不良な BIOS のイメージから回復できるようにします。
	デフォルト:ON(オン)
	1 メモ: BIOS リカバリは、主要な BIOS ブロックを修正するように設計されて おり、起動ブロックが破損している場合は機能しません。さらに、この機能 は、EC の破損、ME の破損、またはハードウェアの問題が発生した場合には 機能しません。リカバリイメージは、ドライブ上の暗号化されていないパー ティションに存在している必要があります。
BIOS Auto-Recovery	コンピューターがユーザーの操作なしで自動的に BIOS をリカバリできるように します。この機能を使用するには、ハード ドライブからの BIOS リカバリが有効 に設定されている必要があります。
	デフォルト:OFF(オフ)
Start Data Wipe	│ 注意: このセキュア ワイプ操作は、再構築できない方法で情報を削除します。
	有効な場合、BIOS は、次回の再起動時に、マザーボードに接続されているスト レージ デバイスのデータ消去サイクルをキューイングします。
	デフォルト:OFF(オフ)
Allow BIOS Downgrade(BIOS のダウングレ ードを許可する)	システム ファームウェアの以前のリビジョンへのフラッシングを制御します。 デフォルト : ON (オン)

表 17. セットアップユーティリティのオプション — システムログメニュー

システムログ	
Power Event Log	電源イベントを表示します。
	デフォルト:Keep。
BIOS Event Log	BIOS イベントを表示します。
	デフォルト:Keep。
Thermal Event Log	サーマル イベントを表示します。
	デフォルト:Keep。

表 18. システム セットアップ オプション — SupportAssist メニュー

SupportAssist	
Dell Auto operating system Recovery Threshold	SupportAssist システム解決策コンソールや Dell オペレーティング システム リカ バリ ツールの自動起動フローを制御します。
	デフォルト:2

表 18. システム セットアップ オプション — SupportAssist メニュー (続き)

SupportAssist

SupportAssist operating system Recovery

特定のシステム エラーの発生時に、SupportAssist オペレーティング システム リ カバリ ツールの起動フローを有効または無効にします。

デフォルト:ON(オン)

F12 ワンタイム ブート メニューからの BIOS のフラッシ

д.

FAT32 USB ドライブにコピーされた BIOS update.exe ファイルを使用して PC の BIOS をアップデートし、F12 ワンタイム ブート メニューから起動します。

このタスクについて

BIOS のアップデート

ブータブル USB ドライブを使用して Windows から BIOS アップデート ファイルを実行するか、PC の F12 ワンタイム ブート メニューから BIOS をアップデートできます。

2012 年より後に構築されたほとんどのデル製 PC にはこの機能があり、PC を F12 ワンタイム ブート メニューで起動することにより、PC のブート オプションとして [BIOS フラッシュ アップデート]がリストされていることを確認できます。このオプションがリストされている場合、BIOS はこの BIOS アップデート オプションをサポートします。

メモ: F12 ワンタイム ブート メニューに [BIOS フラッシュ アップデート]オプションがある PC でのみ、この機能を使用できます。

ワンタイム ブート メニューからのアップデート

F12 ワンタイム ブート メニューから BIOS をアップデートするには、次のものが必要です。

- FAT32 ファイル システムにフォーマットされた USB ドライブ(キーはブータブルでなくてもよい)
- Dell サポート用 Web サイトからダウンロードして、USB ドライブの root にコピーした BIOS 実行可能ファイル
- PCに接続された AC 電源アダプター
- BIOS をフラッシュする動作可能な PC バッテリー

F12 メニューから BIOS アップデート フラッシュ プロセスを実行するには、次の手順を実行します。

<u> 注意</u>: BIOS のアップデート プロセス中に PC の電源をオフにしないでください。PC の電源をオフにすると、PC が起動しない場合があります。

手順

- 1. 電源オフの状態から、フラッシュをコピーした USB ドライブを PC の USB ポートに挿入します。
- PC の電源をオンにして F12 を押し、ワンタイム ブート メニューにアクセスした後、マウスまたは矢印キーを使用して [BIOS アップデート]を選択し、Enter を押します。 フラッシュ BIOS メニューが表示されます。
- 3. [[ファイルからフラッシュ]]をクリックします。
- 4. 外部 USB デバイスを選択します。
- 5. ファイルを選択してフラッシュ ターゲット ファイルをダブルクリックした後、[送信]をクリックします。
- 6. [BIOS のアップデート]をクリックします。PC が再起動して、BIOS をフラッシュします。
- 7. BIOS のアップデートが完了すると、PC が再起動します。

システムパスワードおよびセットアップパスワード

表 19. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログインする際に入力が必要なパスワードです。

表 19. システムパスワードおよびセットアップパスワード (続き)

パスワードの種類	説明
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力 が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

││ 注意: PC をロックせずに放置すると、PC 上のデータにアクセスされる可能性があります。

(i) メモ:システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システム セットアップパスワードの割り当て

前提条件

ステータスが未設定の場合のみ、新しいシステムパスワードまたは管理者パスワードを割り当てることができます。

このタスクについて

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F12 を押します。

手順

- [システム BIOS]画面または[システム セットアップ]画面で[セキュリティ]を選択し、Enter を押します。 [セキュリティ]画面が表示されます。
- 2. [システム/管理者パスワード]を選択し、[新しいパスワードを入力]フィールドでパスワードを作成します。 以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 0から9までの数字を含めることができます。
 - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
 - 特殊文字は、次の文字のみが有効です:スペース、(")、(+)、(,)、(-)、(,)、(/)、(;)、([)、()、)。
- 3. 新しいパスワードの確認フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、[OK]をクリックします。
- 4. Esc を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
- 5. Yを押して変更を保存します。 PCが再起動されます。

既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更

前提条件

既存のシステム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、[**パスワード ステータス**] が(システム セットアップで)ロック解除になっていることを確認します。**パスワード ステータス**がロックされている場合は、 既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

このタスクについて

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F12 を押します。

手順

- [システム BIOS]画面または[システム セットアップ]画面で、[システム セキュリティ]を選択し、Enter を押します。 System Security (システムセキュリティ)画面が表示されます。
- 2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスがロック解除に設定されていることを確認します。
- 3. [システムパスワード]を選択し、既存のシステムパスワードをアップデートまたは削除して、Enter または Tab を押します。
- [セットアップパスワード]を選択し、既存のセットアップパスワードをアップデートまたは削除して、Enter または Tab を押します。
- () メモ: システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパ スワードを再入力します。システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。
- 5. Esc を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
- 6. Y を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。 PC が再起動されます。

CMOS 設定のクリア

このタスクについて

││注意: CMOS 設定をクリアすると、PC の BIOS 設定がリセットされます。

手順

- 1. ベース カバーを取り外します。
- 2. 「コイン型電池」の取り外し手順に従って、コイン型電池をシステムボードから取り外します。
- 3. 1分間待ちます。
- 4. 「コイン型電池」の取り付け手順に従って、コイン型電池をシステムボードに接続します。
- 5. ベースカバーを取り付けます。

BIOS (システム セットアップ)パスワードとシステム パスワードのクリ ア

このタスクについて

システムまたは BIOS パスワードをクリアするには、Dell テクニカル サポート(www.dell.com/contactdell)にお問い合わせください。

メモ: Windows またはアプリケーションのパスワードをリセットする方法については、Windows またはお使いのアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

BIOS のアップデート

Windows 環境での BIOS のアップデート

このタスクについて

次の手順に従って BIOS をアップデートします。

手順

- 1. PC の電源を入れます。
- 2. www.dell.com/support にアクセスします。
- 3. [製品名]をクリックします。[検索サポート]ボックスでお使いの PC のサービス タグを入力し、[検索]をクリックします。 () メモ: サービス タグがない場合は、製品 ID を使用するか、お使いの PC のモデルを手動で確認してください。
- 4. [Drivers & Downloads](ドライバおよびダウンロード)をクリックします。[ドライバーの検索]を展開します。
- 5. お使いのコンピュータにインストールされているオペレーティング システムを選択します。
- 6. ページを下にスクロールして、 [BIOS]を展開します。
- 7. [カテゴリー]ドロップダウン リストで [BIOS]を選択します。 BIOS の最新バージョンが表示されます。
- 8. アップデートを選択して [ダウンロード]をクリックし、お使いの PC の BIOS の最新バージョンをダウンロードします。

ダウンロードが完了したら、BIOS アップデート ファイルを保存したフォルダーを参照します。
 BIOS アップデート ファイルのアイコンをダブルクリックし、画面に表示される指示に従います。

Windows 環境の USB ドライブを使用した BIOS のアップデート

手順

- 「Windows 環境での BIOS のアップデート」の手順 1~8 に従って、最新の BIOS セットアップ プログラム ファイルをダウンロードします。
- 2. 起動可能な USB ドライブを作成します。詳細については、www.dell.com/support でナレッジ ベース記事 000145519 を参照して ください。
- 3. BIOS セットアップ プログラム ファイルを起動可能な USB ドライブにコピーします。
- 4. 起動可能な USB ドライブを BIOS のアップデートを必要とするコンピューターに接続します。
- 5. コンピュータを再起動し、Dell のロゴが画面に表示されたら F12 を押します。
- 6. ワンタイムブートメニューから USB ドライブを起動します。
- BIOS セットアップ プログラムのファイル名を入力し、Enter を押します。
 BIOS アップデート ユーティリティが表示されます。
- 8. 画面の指示に従って BIOS のアップデートを完了します。

Linux および Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート

Ubuntu などの Linux 環境でシステム BIOS をアップデートする場合は、https://www.dell.com/support/kbdoc/000131486 を参照して ください。



オペレーティング システムのリカバリー

PC で何度か試行してもオペレーティング システムが起動されない場合、Dell SupportAssist の OS のリカバリーが自動的に起動します。

Dell SupportAssist の OS のリカバリーは、Windows 10 オペレーティング システムがインストールされているすべての Dell PC には プレインストールされるているスタンドアロン ツールです。PC でオペレーティング システムが起動される前に発生する問題を 診断してトラブルシューティングするツールで構成されています。ハードウェアの問題の診断、PC の修復、ファイルのバックア ップ、PC の出荷時状態への復元を行うことができます。

ソフトウェアやハードウェアの障害が原因でプライマリオペレーティングシステムを起動できない場合、Dell サポート用 Web サイトからダウンロードし、PC をトラブルシューティングして修正できます。

Dell SupportAssist の OS のリカバリーの詳細については、www.dell.com/support にある [Dell SupportAssist OS Recovery ユーザーズ ガイド] を参照してください。

システム診断ライト

バッテリーステータスライト

電源およびバッテリー充電ステータスを示します。

ソリッドホワイト:電源アダプターが接続され、バッテリーの充電量は5%以上です。

橙色 — コンピュータがバッテリーで動作しており、バッテリーの充電量は 5% 未満です。

消灯

- 電源アダプターが接続されバッテリーがフル充電されています。
- PC がバッテリーで動作しており、バッテリーの充電量が 5% 以上です。
- PC がスリープ状態、休止状態、または電源オフです。

電源およびバッテリーステータスライトが障害を示すビープコードと合わせて橙色に点滅します。

例えば、電源およびバッテリーステータスライトが、橙色に2回点滅して停止し、次に白色に3回点滅して停止します。この2,3のパターンは、PCの電源が切れるまで続き、メモリーまたは RAM が検出されないことを示しています。

次の表には、さまざまな電源およびバッテリーステータスライトのパターンと関連する問題が記載されています。

表 20. LED コード

診断ライト コード	問題の内容
2,1	プロセッサーの不具合
2,2	システム ボード:BIOS または ROM(読み取り専用メモリー)の障害です
2,3	メモリーまたは RAM(ランダム アクセス メモリー)が検出されません
2,4	メモリーまたは RAM(ランダム アクセス メモリー)の障害です
2,5	無効なメモリーが取り付けられています
2,6	システム ボードまたはチップセットのエラーです
2,7	ディスプレイの障害です
2,8	LCD 母線の障害です。システム ボードおよび LCD を交換してください
3,1	コイン型電池の障害です

表 20. LED コード (続き)

診断ライト コード	問題の内容
3,2	PCI、ビデオ カード/チップの障害です
3,3	リカバリーイメージが見つかりません
3,4	検出されたリカバリー イメージは無効です
3,5	母線の障害です
3,6	システム BIOS のフラッシュが不完全です
3,7	マネジメント・エンジン(ME)エラー

カメラステータスライト:カメラが使用されているかどうかを示します。

- ソリッドホワイト:カメラが使用中です。
- 消灯 カメラは使用されていません。

キャップスロックステータスライト:キャプスロックが有効か、それとも無効かを示します。

- ソリッドホワイト:キャップスロックが有効です。
- 消灯 キャップスロックが無効です。

インテル Optane メモリの有効化

手順

- 1. タスクバーで検索ボックスをクリックし、インテル Rapid Storage Technology と入力します。
- 2. [インテル Rapid Storage Technology]をクリックします。
- [インテル Rapid Storage Technology] ウィンドウが表示されます。
- 3. [ステータス]タブで[有効にする]をクリックして、インテル Optane メモリを有効にします。
- 4. 警告画面で互換性のある高速のドライブを選択し、[はい]をクリックして、インテル Optane メモリの有効化を続行します。
- 5. [インテル Optane メモリ再起動]をクリックして、インテル Optane メモリの有効化を完了します。
 - () メモ:パフォーマンスで最大限のメリットを得るには、有効化後にアプリケーションを最大で3回起動しなければならない 場合があります。

インテル Optane メモリの無効化

このタスクについて

- △ 注意: インテル Optane メモリを無効化後、インテル Rapid Storage Technology のドライバーをアンインストールしないでく ださい。ブルー スクリーン エラーが発生する原因になります。インテル Rapid Storage Technology のユーザー インターフ ェイスは、ドライバーをアンインストールせずに削除できます。
- () メモ: インテル Optane メモリの無効化は、インテル Optane メモリ モジュールによって高速化された SATA ストレージ デバイ スをコンピューターから取り外す前に行う必要があります。

手順

- 1. タスクバーで検索ボックスをクリックし、インテル Rapid Storage Technology と入力します。
- 2. [インテル Rapid Storage Technology]をクリックします。 [インテル Rapid Storage Technology]ウィンドウが表示されます。
- 3. [インテル Optane メモリ]タブで[無効にする]をクリックして、インテル Optane メモリを無効にします。
 - メモ: インテル Optane メモリがプライマリ ストレージとして機能するコンピューターでは、インテル Optane メモリを無効にしないでください。[無効にする]オプションがグレー アウト表示されます。
- 4. 警告を受け入れる場合は、[はい]をクリックします。

無効化の進捗状況が表示されます。

5. [再起動]をクリックして、インテル Optane メモリの無効化を完了し、コンピューターを再起動します。

待機電力のリリース

このタスクについて

待機電力とは、PCの電源をオフにしてバッテリを取り外したあとも PCに残っている静電気のことです。以下は、待機電力を放出 するための手順です。

手順

- 1. PC の電源を切ります。
- 2. ベース カバーを取り外します。
- 3. バッテリーを取り外します。
- 4. 待機電力を逃がすため、電源ボタンを 15 秒間押し続けます。
- 5. バッテリーを取り付けます。
- 6. ベースカバーを取り付けます。
- 7. PC の電源を入れます。

Wi-Fi 電源の入れ直し

このタスクについて

お使いのコンピューターが Wi-Fi 接続の問題が原因でインターネットにアクセスできない場合は、Wi-Fi 電源の入れ直し手順を実施 することができます。次に、Wi-Fi 電源の入れ直しの実施方法についての手順を示します。

(i) メモ: 一部の ISP (インターネット サービス プロバイダ) はモデム/ルータ コンボ デバイスを提供しています。

手順

- 1. コンピュータの電源を切ります。
- 2. モデムの電源を切ります。
- 3. ワイヤレス ルータの電源を切ります。
- 4. 30 秒待ちます。
- 5. ワイヤレス ルータの電源を入れます。
- 6. モデムの電源を入れます。
- 7. コンピュータの電源を入れます。

「困ったときは」と「デルへのお問い合わせ」

セルフヘルプリソース

セルフヘルプリソースを使ってデル製品とサービスに関するヘルプ情報を取得できます。

表 21. セルフヘルプリソース

セルフヘルプリソース	リソースの場所
デル製品とサービスに関する情報	www.dell.com
My Dell	Deell
ヒント	· 🔶
お問い合わせ	Windows サーチに Contact Support と入力し、Enter を押し ます。
オペレーティング システムのオンライン ヘルプ	www.dell.com/support/windows
	www.dell.com/support/linux
トラブルシューティング情報、ユーザーズ ガイド、セット アッ プ方法、製品仕様、テクニカル サポート ブログ、ドライバー、 ソフトウェアのアップデートなど。	www.dell.com/support
PC のさまざまな問題に関するデルのサポート技術情報の記事	 www.dell.com/support にアクセスします。 サポートページの上部にあるメニューバーで、[サポート] > [サポート技術情報]を選択します。 [サポート技術情報]ページの検索フィールドにキーワード、 トピック、モデル番号のいずれかを入力し、検索アイコンを クリックまたはタップして関連する記事を表示します。
お使いの製品について、次の情報を把握します。 ● 製品仕様 ● オペレーティング システム ● 製品のセットアップと使用 ● データ バックアップ トラブルシューティングと診断 ■ 工場出荷時の状態とシステムの復元 ● BIOS 情報	 www.dell.com/support/manualsの『Me and My Dell』を参照してください。 お使いの製品に関する Me and My Dell(私とマイデル)を探すには、次のいずれかの方法で製品を特定します。 [Detect Product (製品を検出)]を選択します。 [View Products (製品の表示)]のドロップダウンメニューで製品を見つけます。 検索バーに、[サービス タグ ナンバー]または [製品 ID] を入力します。

デルへのお問い合わせ

販売、テクニカルサポート、カスタマーサービスに関するデルへのお問い合わせは、www.dell.com/contactdell を参照してください。 () メモ:各種サービスのご提供は国/地域や製品によって異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。

6

() メモ:お使いのコンピューターがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデ ルの製品カタログで連絡先をご確認ください。